まちづくり・景観コンセプトについての考え方（素案）

資料3

1. まちづくり計画作成にあたっての基本的考え

吹田市のまちづくり計画

吹田市のまちづくり方針



準備組合で具現化検討

市の方針を踏まえ再整備具体化検討

- 施設利用者の利便性向上
- 地区センターの持続性
- 北千里駅前の魅力向上
- 再整備の事業成立性

2. まちづくり計画の方針

■ まちづくりの方針

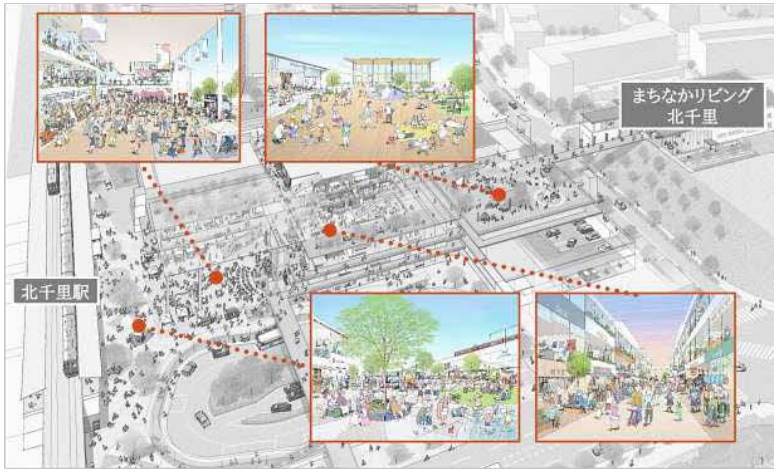
北千里のまちの価値・暮らしの質を高める新しい拠点づくり

人が中心のまちづくり

整備におけるポイント

1	多様なアクティティ・居場所のある拠点	賑わいのある広場や憩いの滞留空間など多様なオープンスペースを整備します
2	多様なニーズに対応できる拠点	商業や公益施設などの暮らしを支える施設や地域活動の場を整備します
3	みんなが来やすく使いやすい拠点	北千里駅と一体的な交通結節点、まちなかリビングと北千里駅を繋ぐ歩行者ネットワークを整備します

■ 北千里駅前まちづくり意見交換会で取りまとめられた、まちの将来利用イメージ



3. 設計・景観コンセプト等の考え方

■ 設計コンセプト

EMOTIONAL DIVERSITY TOWN

EMOTIONAL DIVERSITYとは「出会う感情が多様になるほど、人生はウェルビーイングになる」という考え方です。次世代の千里北地区センターに求められることは「**ひとが中心のまちづくり**」と捉え、今までの効率性・機能性を重視して建物を作っていたのではなく、**人の感情を中心に建物やまちづくりを考えていくこと**でこれまでのまちにはない**深みある愛着の持てるまち**を目指します。



■ 空間デザインダイアグラム

多様なアクティビティが生まれるオカ（多種な用途や広場等）とまちの人が集うミチ（歩行者回遊動線）を空間整備の基本とし、これらオカとミチを再整備後に必要となる地区センター機能・用途と一体的に整備を行います。

オカ × ミチ ＝ オカとミチ



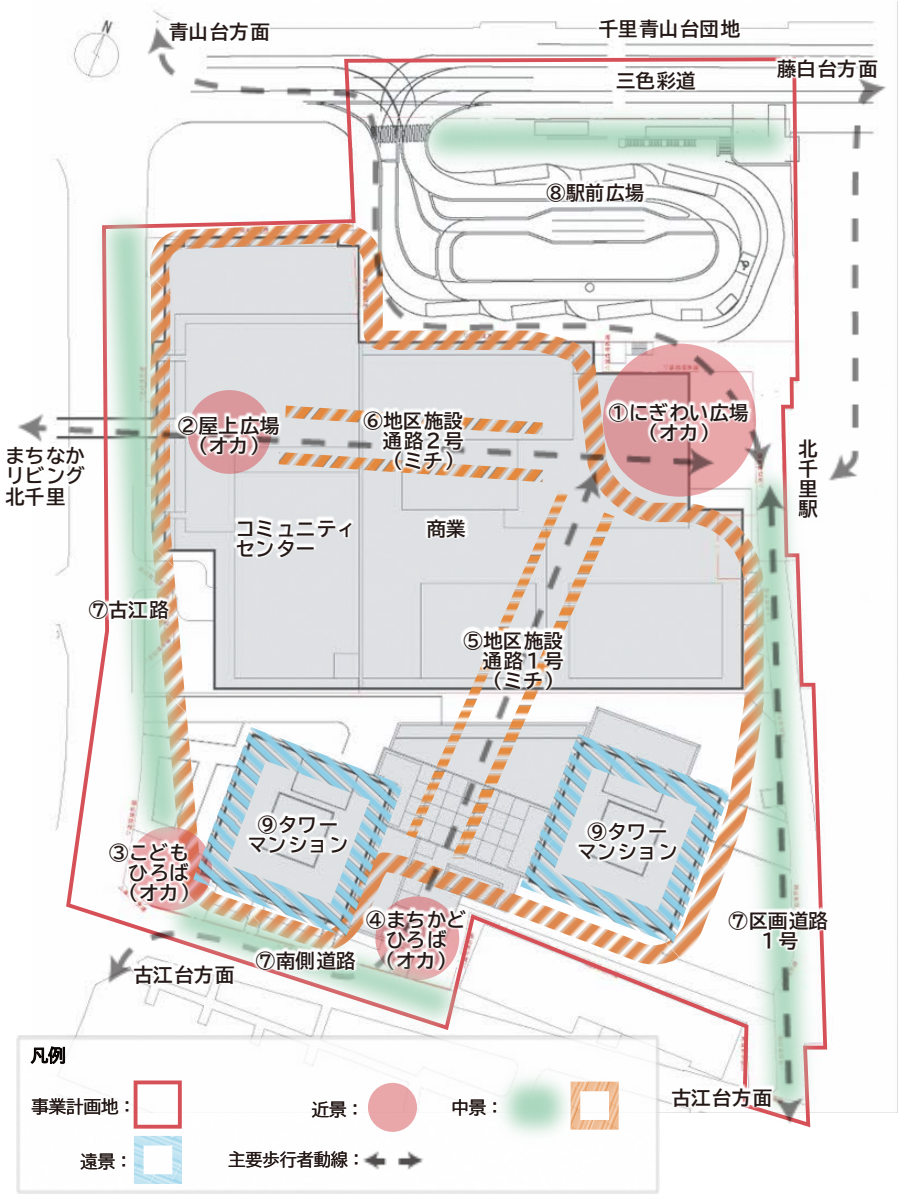
公共性やプライバシー性に配慮した多様な場所のオカと様々な大きさのオカを計画します。このオカの重なりが様々な出会いと発見の生み出す空間軸とします。	幅員に変化を持たせ大きなミチを東西、南北に作り、緩やかに結びます。このミチにヒューマンスケールの小さなミチを接続させ出会いと交流を生み出します。	用途に応じたオカを計画し、そのオカを縫うようにミチを挿入することで、千里丘陵の記憶を継承した新たな地区センターの在り方を提供いたします。

■ オカとミチの配置デザイン方針



様々な感情が集まり関係を形成することで人の居場所が生まれ、それがオカ（場）になっていく	生まれたオカには様々な性質があり、それらが道でつながっていきカタチをなしていく	オカとミチができ、機能や周辺環境と溶け込むことで建物の骨格を形成していく

■主たる景観要素と全体景観計画



■ 関係会議体との意見共有等を行う環境項目等に対する事業者の考え方

環境項目等	評価対象及び水準	評価水準に対する事業者の考え方
緑化	【対象】オープンスペース及び駅前交通広場に新たに形成される緑の質及び量。 【水準】質については、良好な景観形成や憩いの場の創出等に資するよう配置される方針等が示されているか。量については、視認性の高い箇所等に可能な限り配置される方針等が示されているか。	■緑化に関する方針 • オープンスペースに設ける多様なオカは人々が滞在したくなるような場所、それらを繋ぐミチはその先にあるオカに行きたくなるような緑の配置やデザインとし、まとまりのある良好な景観を形成します。 • オープンスペースのうち「にぎわい広場、屋上広場、こどもひろば、まちかどひろば」といった全てのオカについては、視認性の高い場所には緑を重点的に配置し、周辺市街地や既存の緑地との連続性にも配慮します。
人と自然とのふれあいの場	【対象】オープンスペースに新たに形成される緑等の自然と人とのふれあいの程度。 【水準】緑等の自然と人がふれあう場の形成する方針を持つとともに、そのふれあいがもたらすと期待される効果等が示されているか。	■自然と人がふれあう場を形成する方針 • 憩い・交流・遊びの場を目的とした多様なオカでは、自然とのふれあいを大切にし、特に「こどもひろば、まちかどひろば」については、沿道の緑等との一体配置をすることにより、オカの中で人々が滞在したいと感じてもらえるよう、広場ごとの特性に応じた空間整備を図ります。 • 自然とのふれあいを大切にしたオカを整備することで、まちの居場所や滞在空間の形成、地域コミュニティの活性化、人が中心となったウォーカブルなまちづくりの実現を期待しています。
景観	【対象①】配置されるオープンスペースが形成する景観コンセプト 【水準①】オープンスペースの景観コンセプトが、良好な景観形成に資するものとなっているか。	■オープンスペースの景観コンセプト • 多様なアクティビティが生まれるオカと、そこに繋がるミチを一体的にデザインし、地区全体で良好な景観を形成します。 • それぞれ特徴あるオカとミチにするとともに、建物も含めて統一感のある景観を目指します。
	【対象②】千里ニュータウンの景観特性等の視点からの新たに生まれるまちの景観コンセプト 【水準②】新たに生まれるまちの景観コンセプトが、千里ニュータウンの景観特性を尊重したうえで、調和と個性のある景観に資するものとなっているか。	千里ニュータウン、特に北千里地域には、豊かな緑、ゆとりある空間構成及び高低差のある地形が生み出す街並みや、暮らすまちとしての風景、といった景観特性があると考えています。 ■新たに生まれるまちの景観コンセプト • 人が中心の新たなまちの拠点にふさわしい、調和と個性ある生きた景観を形成します。 • 中景では、北千里駅周辺の街並みとのつながりに配慮し、まちに調和した一体性ある沿道空間を、千里ニュータウンの資源である緑をベースに高低差も考慮して創出します。 • 遠景では、建物の中高層部の立面形状や色彩は落ち着いたシンプルなデザインとし、千里ニュータウン全体の景観との調和に配慮します。
	【対象③】三色彩道沿いに位置し、交通結節点となる駅前交通広場の景観コンセプト 【水準③】駅前交通広場の景観コンセプトが、都市の玄関口としての良好な環境の創造及び景観資源である三色彩道の景観の保全に資するものとなっているか。	■駅前交通広場の景観コンセプト • 最も重要な交通結節点としての機能に配慮しつつ、地域の玄関口となるにぎわい広場と一体となったまちの顔づくりと、三色彩道沿いのみどりの連続性・調和の両面から景観形成を図ります。